

商品名 フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」 添付文書情報

一般名	フルオロメトロン0.1%1mL点眼液	薬価	18.50
規格	0.1% 1mL	区分	
製造メーカー	千寿製薬	販売メーカー	千寿製薬 武田薬品
薬効	1. 神経系及び感覚器官用医薬品 13. 感覚器官用薬 131. 眼科用剤 1315. 眼科用コルチゾン製剤		

フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」の用法・用量

用時よく振りまぜたのち、通常1回1～2滴、1日2～4回点眼する。年齢、症状に応じ適宜増減する。

フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」の効能・効果

外眼部および前眼部の炎症性疾患（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、虹彩炎、虹彩毛様体炎、強膜炎、上強膜炎、ブドウ膜炎、術後炎症等）。

フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1. 重大な副作用：
 - 1) 緑内障（頻度不明）：連用により、数週後から眼内圧亢進、緑内障があらわれることがある。
 - 2) 角膜ヘルペス、角膜真菌症、緑膿菌感染症（いずれも頻度不明）：角膜ヘルペス、角膜真菌症、緑膿菌感染症等を誘発することがある。
 - 3) 穿孔（頻度不明）：角膜ヘルペス、角膜潰瘍又は角膜外傷等に投与した場合には角膜穿孔を生ずることがある。
 - 4) 後嚢下白内障（頻度不明）：長期投与により、後嚢下白内障があらわれることがある。
2. その他の副作用：
 - 〔1〕 眼：（頻度不明）眼刺激、結膜充血、角膜沈着物、眼瞼炎、眼瞼皮膚炎。
 - 〔2〕 下垂体・副腎皮質系機能（長期連用した場合）：（頻度不明）下垂体・副腎皮質系機能抑制。
 - 〔3〕 皮膚：（頻度不明）発疹。
 - 〔4〕 その他：（頻度不明）創傷治癒遅延。

フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」の使用上の注意

【禁忌】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。

【重要な基本的注意】

1. 連用により、数週間後から眼内圧亢進、緑内障があらわれることがあるので、定期的に眼内圧検査を実施すること。

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 角膜上皮剥離又は角膜潰瘍のある患者：治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと（症状が増悪するおそれがあり、また、角膜穿孔を生ずるおそれがある）。
2. ウイルス性結膜疾患・ウイルス性角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患又は化膿性眼疾患のある患者：治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと（症状が増悪するおそれがあり、また、角膜穿孔を生ずるおそれがある）。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。長期・頻回投与を避けること。

【小児等】

特に2歳未満の場合には、慎重に投与すること。小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【高齢者】

一般に生理機能が低下している。

【適用上の注意】

1. 薬剤交付時の注意：患者に対し次の点に注意するよう指導すること。
 - ・点眼前にキャップをしたまま点眼容器をよく振ること。
 - ・薬液汚染防止のため、点眼のとき、容器の先端が直接目に触れないように注意すること。
 - ・患眼を開瞼して結膜嚢内に点眼し、1～5分間閉瞼して涙嚢部を圧迫させた後、開瞼すること。
 - ・他の点眼剤を併用する場合には、少なくとも5分以上間隔をあけてから点眼すること。

【取扱い上の注意】

本剤は、保管の仕方によっては振り混ぜても粒子が分散しにくくなる場合があるので、上向きに保管すること。

【保管上の注意】

室温保存。



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.